

高安詰所だより

第11号

立教185年

11月20日



第2回 若人会 10/29

「論達」発布

「論達第四号」が発布された。いよいよ「教祖百四十年祭」

に向け、三年千日の年祭活動が始まる。待ちに待った「旬の風」が吹き始めるのだ。コロナは勿論、停滞し淀んだ空気も一気に吹き飛ばしてくれる「旬の風」。十年に一度巡ってくるこの風に乗って、私達も大いに羽ばたこう。

けれども、いろんなものを抱えたままでは風に乗れない。風に乗るには何と言っても身軽でなければ。要らないものはこの際捨てよう。「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ」だ。またそれは教祖ひながたの第一歩でもある。特に、分かっているけども捨てられない持ち前の「癖性分」、このやっかいな重荷を思い切って「断捨離」してしまおう。そして身も心も軽快に、年祭に向かって「教祖ひながた」の道を踏み出そう。変わらないと思いついでいる自分を変えるのは今、この旬だ。

詰所行事予定(十二月)

- 一日 修養科第九七八期生入科
- 四日 詰所常会
- 八日 にをいがけ実動
- 十一日 勤務者修練Ⅰ
- 十三日 おつとめ勉強会
- 十七日 直轄祭参拝(大教会)
- 二十日 勤務者修練Ⅱ
- 二十三日 大教会月次祭参拝
- 二十六日 本部月次祭参拝者受入れ
- 二十八日 餅つき
- 二十九、三十日 大掃除

詰所の動き

秋季大祭 十月二十六日

コロナ第八波が心配される中、立教一八五年秋季大祭がつ



とめられ、おちばは大勢の参拝者で賑わいました。詰所では今月も好評の「ミニライブ」が行われ、いつもの川島佑介さんの小鼓演奏に加え、教養掛助手の西海湧起さんが自慢の生ギター演奏を披露、「小鼓とギター」のコラボで帰参者を和ませてくれました。

青年会総会 十月二十七日

第九十六回青年会総会が本部中庭に於いて開催されました。コロナ禍の中ということですが、人数制限をかけての開催となりましたが、青年会長様のお言葉がインターネットを通して、全国のあらかじょうりょうに向け、ライブ発信されました。



若人会（第二回） 十月二十九日

婦人会、青年会共催の「若人会」が今年の夏、大変好評を得たので、この秋、第二回目が開催されました。今回も大勢の若者達がおぢばに集い楽しく愉快に親交を深めました。

青年会ひのきしん隊 十一月隊

青年会高安分会では十一月にひのきしん隊を編成し、おぢばで伏せ込ませて頂きました。ひのきしん隊といえば「百母屋」ですが、ここ数年はコロナの影響で合宿できませんでした。それが漸く宿泊可能となり、中には何と新婚三日目という会員も参加していました。また若者だけでなく、「百母屋」で青春を謳歌したOB方も、青春時代の思い出に浸りつつ、楽しい時を過ごしておられました。



にをいがけ実動 十一月八日

今月も天理市西長柄方面に出動し、「旬の風」に乗って、勇んで「にをいがけ」に歩かせて頂きました。



お知らせ

お礼団参 十一月二十七日

お礼団参を通して「教祖お入り込み百四十年」の年の心定めを完遂し、仕切って「教祖百四十年祭」へ向けての年祭活動に向かわせて頂きましょう。

◎お礼のおつとめ 午前十一時半 於 東礼拝場

◎ひのきしん 十二時半～二時 於 豊田山墓地

「女子青年大会」十一月二十七日、

同日、おちばでは女子青年大会も開催されます。大教会の「お礼団参」に合わせ、広くお声掛け下さい。

◎式典 午前十時より 於 本部中庭

◎ひのきしん 式典終了後 於 本部境内地

◎支部行事 午後一時より 於 詰所

おちばに伏せ込む若者達(その2)

高橋和真さん(二十三才 河北・玉造)。

住道布教所長の子弟として生まれ、

「教校学園」ではマーケティングバン

ドで活躍、全国大会で見事金賞を



受賞。卒業後は「専修科」に進み、その後二年間の詰所青

年を経て、更に大教会青年を半年間勤め、現在は中山御分

家宅青年として「伏せ込みの王道」を歩んでいます。特技

も植木剪定と、どこまでもストイックなナイスガイです。

フリーWi-Fi開通

詰所地下一階の信者室では、建物の構造上、携帯電話が使えないという事情があり、ご不便をおかけしてききましたが、漸く「フリーWi-Fi」が開通しましたので、今後はLINE電話などデジタル通話が可能となりました。



編集後記

おちばの風物詩、親里大路の「銀杏並木」がSNSで拡散され、撮影に訪れる人が近年激増。そのため今月十九、二十日は親里大路の一部が通行規制され「歩行者天国」となりました。やかた前の「枝垂れ桜」といい、おちばは全国区の観光名所にもなっています。

発行 天理教高安大教会信者詰所
発行者 芦田孝廣
印刷 天理市守目堂町二五五番地一